

# 小学生の部

1,190  
作品

# 作文コンテスト受賞作品

# 中学生の部

505  
作品

## ★★ 常任委員長賞

### 困ったときは、お互い様

先日、妻の介護につかれ、その妻を殺してしまった男性に、実刑判決が下ったというニュースを聞きました。他にも同じようなニュースをよく見かけますが、その約2割の動機が、介護・看病づかれであるそうです。

私は、このニュースを見て、とても不思議に思いました。私は、3歳の頃からパレエやスイミングに通っていて、今でも祖母や祖父が送迎づいて来てくれています。そして、いつも会う度に、「元気だった?」と聞いてくれます。毎回くれるパンやスイーツ、旅行好きの祖母の会話。とても楽しいので、介護をしていても苦ではないと思っていました。そして、家族を殺してしまう気持ちも理解できませんでした。

私は介護をしたことがないので、まずは介護する側の人の気持ちを考えてみました。「なぜだろう」と考えたとき、理由の一つとして、私は「誰にも頼れないから」ではないかと思いました。「恥ずかしい」「人に迷惑をかけたくない」「誰に相談したらよいかわからない」インターネットが発達し、離れていても人と人がつながれるようになった現代だからこそ、近くの人と人のつながりがうすれていることによる問題。その

## ★★ 優秀賞

### 「人と人がつながり合う社会へ」

池袋本町小学校 6年生 大山 璃衣奈さん



最近、私はロミオとジュリエットの物語を読みました。そのお話は、思いこみが原因で愛する人をなくしてしまった悲しいお話でした。ジュリエットが本当に死んでしまったことを思いこんだロミオは自殺をしてしまったのです。そして、ジュリエットもロミオの亡きを見つければ、後を追ひ、思いこみが両者を悲しませる結果になってしまいました。

このお話は、私にとっても心に残るものでした。なぜなら私が習っているバスケットボールの試合でも似たような失敗があったからです。あと1点で試合をひっくり返す大事な場面で、自分の思いこみが原因で、仲間とプレーがかみ合わず、結果的に負けてしまったのです。その時はとても悔しかったし、なみだが勝手にこぼれ落ちました。

## ★★ 優秀賞

### 挨拶 私達にもできる魔法

富士見台小学校 6年生 若井 蒼生さん



「挨拶ってなんで大切な?」

道徳の授業で挨拶が取り上げられるときにいつも疑問に思います。だいたいみんなの口から出てくるのは、「マナーだから」「スッキリするから」等々。しかし、私はあまりしっくりこないのです。マナーなら何故マナーになったのか。「スッキリ」するのは何故か。私は挨拶を、信じるのではなく、逆に疑うことから始めてみました。

私達6年生は、今年で卒業するので、時々卒業旅行の話をすることがあります。以前は隣のクラスで、卒業したらディズニーへ行くという話があったそうです。私や他の同級生は、謎の「人数制限」によって入れませんでした。そのときに深く傷ついた友人がいました。私は、他人についていくよりみんなに「行くぞう」というほうが好きだし、まだ何ヶ月も後のことだから変更の可能性がかなり高いため、それほどがっかりはしませんでした。だからその時は分かってあげることが難しく、とにかか悲しいのだということしか知ることができませんでした。きっと彼はその時、私とは違い、孤独のどん底で一人置いていかれた気分浸っていたのだと思います。分か

悩みこそが、犯罪を起こす根本の原因ではないかと考えました。最近では、小学校高学年では塾に行っている人も多く、放課後地域と関わる機会がないのも現状だし、私も近所付きあいにおいて、軽薄な部分があります。

どうにかして、地域とのつながりをつくれなしか。そう考え、(皮肉にも)インターネットを使って、「地域 つながり 取り組み」で調べてみました。すると、一つの記事がヒットしました。「SDGsと地域福祉。大学教授が解説する、人と地域が「つながる」インクルーシブな地域共生社会」。インパクトのある見出しの記事を読みはじめました。その記事では、大学教授が「コミュニティカフェ」について紹介していました。「コミュニティカフェ」とは、住民の高齢化や高齢者の孤立や孤独死などの問題を解決するべく、関係づくりや居場所づくり、高齢者の孤立防止などに特化したカフェだそうです。また、私の家の近くにもカフェがあることが分かり、社会が良い方向へ向かっていることを実感しました。

しかし、「コミュニティカフェ」に行きにくい人や、忙しくて行けない人もいるはずです。その人達は、何もしなくてもよい

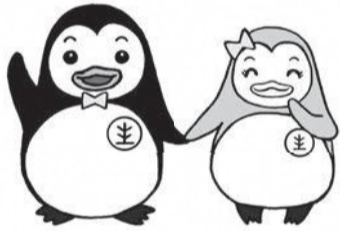
のでしょうか?きっとそれは違うはずです。少しずつできる取り組みとして、あいさつをするべきだと思いました。あいさつには、人を元気にしたり、うれしくしたりできる効果があります。誰かとのつながりを感じられるあいさつを、みんなが取り組むべきだと思いました。

私はこの翌日、早速同じマンションの人にあいさつをしてみました。「おはようございます。」最初の声はとても小さかったです。けれど、2人目、3人目とあいさつをしていく度に、どんどん声は出ていきました。慣れると心がすがすがしくて、気持ちよくなるようになりました。次の日。私が同じようにあいさつをしていたら、笑顔で返してくれた人がいました。中には話しかけてくれる人もいて、このしゅん間、人とのつながりをしっかりと感じたような気がしました。

介護づかれによって、人を殺めてしまうということは、意外と誰にでも起こりうる犯罪です。だからこそ、誰かに頼ることをみんなが覚えるべきだと思いました。私は、パレエの荷物が重いとき、祖父に持ってもらいます。でも、私は祖母の歩調に合わせて歩きます。世の中には、努力しても報われないこともたくさんあります。けれど、誰かの思いやりは、きつどこかで返ってくるはずですから、一人の思いやりで、誰も孤立しない、誰も見捨てない社会になることを願っています。そして、「困ったときはお互い様」の精神を忘れずに、人を思いやり、頼れるようになればいいと思いました。

私たちは一步一步、歩み寄る勇気が必要だと思います。そして、自分の意思を伝えることができる人になり、会話のキャッチボールを上手にできるようになることが大切です。そうすればもっと人と人がつながり合う社会になっていくと思います。

最後に、私たち心も大切にすべきだと思います。失敗をおそれることはありません。失敗から学び自分の意思をしっかりと持ち、伝えることができる人になりましょう。そうすればより良い社会を築くことができ、人と人がつながり合うことができます。



り!」。すると、いつもは当たり前にした母の声に、味方になってくれたような心強さを感じました。みんな感じ方が違うから言葉で分かり合うことは難しいけれど、挨拶の声をかけることで相手との関係を再確認することができるのだと思います。

些細なことに思えるかもしれませんが、私はとても重要な意味があると思います。

いつまでもなくならない犯罪。いけないと分かっているも非行へと走ってしまう人はきつと、悩みを一人で抱え続けて、抱え続けて、ずっと抱え続けて、限界という崖に行き着いたときに、一人で抱えられなくなり罪を犯してしまうのでしょうか。「生きの意味を見い出せず、大きな事件を起こして死刑になったりかった」という悲しい言葉を残して逮捕されていく人もいます。そこに至るまでに手を差し伸べてあげられるのが「挨拶」なのだと思います。

今まではマナーとしてかかっていた挨拶にとっても大きな役割があるのだと考えて分かりました。私達はいつも、犯罪非行がなくなり、取り残される人が消え、社会に光があたまることを願っています。そのためにまず自分達にできること、身の回りにいる人に積極的に挨拶の声をかけていくこと。凹みかけて、丁寧に旗のデザインを描きました。投票の当日、頑張っていた私の作品には一票も来ませんでした。心が凹みました。見捨てられた気がしました。一生懸命描いたものだったから、自信を失いました。絶望の淵にいた気分です。本当はそれほどのことでもないのに。みんなでディズニーに行かかったあの友人のような気分家で家に帰りました。「おかせ

## ★★ 常任委員長賞

### 差別に効く薬

巣鴨北中学校 1年生 後藤 仁さん



差別は感染症よりも恐ろしいものだと思う。なぜなら、感染症に効く薬はあっても差別に効く薬はないからだ。

新型コロナウイルスが流行し始めた頃、母は私に、自分が看護師だということを友達に言わない方がいい、と言った。私はしばらくそのことをずっと疑問に思っていた。人々のために一生懸命頑張っているのになぜ言っていけないのだろうかと思った。ある日、テレビの番組で、医療従事者の人やその人たちの子どもが差別を受けることがあるという事実を知った。保育園に子どもを預けることができなかったり、できたとしても他の子どもの親から避けられるなどのことを、医療従事者だからという理由だけでされていた。辛い、私の周りに医療従事者を非難するような友達はなかなか。だが差別を受けている人のことを思うと胸が痛んだ。この時、私は、私が周りから嫌がらせを受けないよう、母はあのように言っていたのだからと理解した。

せきなどをすると、周りに白い目で見られる世の中になってしまった。本来は、周りで体調の悪そうな人がいれば、

## ★★ 優秀賞

### 生きるための第一歩

西池袋中学校 2年生 岩崎 胡桃さん

みなさんは何かのきっかけで自分を責めてしまうことはありませんか。ちょっとした事でもそのままにせず、自分なりの落ちつけ方がある事によって心の安定が保てると私は思っています。

約1年前、連続で自殺のニュースを見た時がありました。そんなニュースを見ながら私は、「なぜ自分の大切な命を自分の手でうばってしまうのだろうか」と自分には考えられない行動を不思議に思っていました。それからしばらくした時、特に何かあったわけでもないのに、今までの自分の行動全てを「あの時こうしていれば」、「なんでできなかったんだろう」、「他の人はできるのになんで自分は行動できないの」と考えようになった事がありました。あれだけ自分には考えられないと思うために、私は「死にたい」と感じてしまうようになってしまいました。いのちの大切さや、母が産んでくれた大事な

## ★★ 優秀賞

### あなたは、あなたであればいい

西池袋中学校 2年生 齋藤 夜空さん



悩んだ時に相談できる大人は何人いますか。「あなたはあなたのままでいい」と言ってくれる人が友達や家族、学校の先生、地域の人のいますか。この言葉は日曜討論の子ども・若者政策いま何が必要かの放送回、君の声が聴きたいのコーナーで16歳の子が「大きな目標を抱く事を強要しないでほしい」という意見に、小倉少子化担当大臣が仰っていた言葉で僕は自分の事のように感じて嬉しかった。タブレットで調べた所マザー・テレサの言葉だと知った。3月に母の病気が見つかり、医療ソーシャルワーカーに不安になった時に相談できるので少し気持ちが楽になった。僕は内閣府ユース政策モニターや豊島子ども会議に参加していて、政治家や行政の大人は子どもの意見を耳を傾けてくれて沢山心配をしているのは伝わって来るのだが、僕の周りに政治に関心のある子はいないし、大人のメッセージは伝わってないと感じ、僕は伝えたいと思った。

日本の学校に通う子ども達は幸せなのだろうか?池袋図書館に「外国にルーツをもつ子どもたちの学校のウェルビーイング」という本があり野村あすかさんによると、日本の子どもの幸福度は38か国中身体的健康は1位だったのに対して精神的健康は37位と差があると話題になったとあった。どうして差があるのか考えた時に、僕は小2まで埼玉県狭山市の公立小に通い、転居で小3から豊島区の公立小に転校し、2年前僕は6年生で僕の通っていた小

印象がついてしまうと、それはなかなか消えづらい。しかし、ある一面だけを知って人の全てを理解した気になるのは良くないことだと思う。良い面を知っても悪い面を知ってもその情報だけで接し方を決めるのではなく、もっと相手のことを深く知ろうとすることで差別も減っていくと思う。

偏見の恐ろしいところは、やがてじわじわとその人の周りに広がっていくことだ。つまり、その内容が悪い内容だった場合、先程述べた悪い印象をつくるきっかけを自分はずつつってしまうかもしれないということだ。今まで犯罪を犯してしまった人は大勢いる。その人たちの中では社会に復帰する人がほとんどだろう。しかし、たとえ復帰できたとしても、どんな理由かを分らず、ただ犯罪を犯したという理由で、色々な差別を受けている人はたくさんいると思う。そしてその差別は、また新たな犯罪を生んでしまう。なぜなら、差別は人を孤立させてしまうからだ。再犯をした人は辛い思いをする。その犯罪の被害者も辛い思いをする。このように差別はたくさんの不幸をつくってしまう。

私はこの作文を通じて差別について考えることがたくさんあった。そして、差別に最も効果的なものは、相手を思う気持ちとあった。良い言葉だと思っただ。考えた二つのことから分らず、少しでも差別のない明るい社会をつくっていきたくと思った。

経験にピッタリ当てはまるものだなと感じました。もっと言えば、これ以上ごんなんにも当てはまる経験はないと思います。この経験を通して私が言いたい事は、自分なりの対処法を見つけてほしいという事です。母にも先生にも仲の良い友達にも相談できないし、相談センターのような所に電話するのも勇気がいるし、結局一人で抱え込んでしまう人が多いのではないかと思います。私の場合、今まで学校で話さない友達にあえて貰げんに話すような空気をなくし、今思っている事をネットを通して打ちあけてみる事にしました。その友達は「なぜ!」などと深く聞こうとせず、「また話したくなったらいつでも言ってね」と、優しく話に付き合ってくれました。その出来事がとても嬉しくて、心が軽くなった気もしました。誰かに話すことだけが解決策ではなく、自分が今聴きたい曲を聴いてみるだけでも、思っているよりもだいぶ楽になると思っています。

この作文が多くの人に読まれることによって、心が少しでも楽になったと感じる人が増える事を私は願っています。最後に、私達は今一度、「いのち」について考えなおすきっかけが必要なのではないのでしょうか。そのきっかけの第一歩がこの作文になりますように。

皆SNSをしていて知らない大人と繋がる事は簡単だ。SNSでは親や先生とは違い甘い言葉を掛けて来て騙して子どもの自殺を手伝う大人がいたり、親や先生から見えないので誹謗中傷を書かれて傷ついている子どもが沢山いて、それにより不登校になった子が出席扱いにならず高校や大学の進学に影響がある場合、子どもは自分の人生に希望を持ってないと思う。

4月に子ども家庭庁が発足して「子ども若者★いけんぶらす」のメンバーを小学1年生から29歳までの人を随時募集している。僕も登録して先日YouTubeでぶらすメンバーの会に参加し、子ども家庭庁の職員さんが子ども家庭庁が大切にすることを三つ仰っていて一つ目は「子どもの声・子育てをしている人」二つ目は「地方自治体と協力する」三つ目は「NPOや地域の人たちと話し合いをする」事だ。僕は1年間のユース活動を通じて、自分一人で考えていても問題は解決する事はないし、他のユースの意見を聴く事で新たな視点を得られたり、より良い意見が生まれると実感した。子ども達からの質問コーナーで「不登校の人も参加してもいいんですか?」との質問に「もちろんです!」と仰っていた。自分の意見を言った所で変わらないでしょと思っている人もいるかもしれないが、素直な意見が通る訳ではないけれど、どういう過程で議論してきたかなどをフィードバックしていくとの事だった。僕は小学生の時立教大学のとしま子ども大学に入っていて、区長とティータムの時に「公園でボール投げができるようにしてほしい」と頼んだ所、素晴らしいボールなら投げてもよい事になり願いが叶って嬉しかった経験から、一人でも多くの子どもが参加すれば幸福度も上がり笑顔で毎日を過ごせると子どもが増え、日本で学べてよかったと思えるようになると思う。